

「ひばりが丘」

平成23年度『学校だより』授業参観日

発行：2011年（平成23年）5月13日（金）
那覇市立松川小学校校長・松川幼稚園園長
吉浜 幸雅（よしはま ゆきまさ）

静かに授業を参観して下さり、感謝します

～共に成長する松川小学校授業参観にしよう！～

どの子ども保護者や御関係の皆様が来校すると嬉しいにきまっています。子ども達は、保護者の皆様に心のどこかで「ありがとう」と感じているはずです。子どもは、大人の言葉と具体的な姿（行動する姿）でよりよく育ちます。共に、理解・協力・連携して頑張りましょう。学校も頑張ります。

1. 授業で何をみますか（子どもと教師を）

- (1) 静かに、よくみましよう。とにかくよくみて感じましよう。(子どもと教師のやる気へ)
- (2) 我が子をよくみましよう。何をどのように勉強しているか。ほかの子とのかかわりはよいか。
- (3) ほかの子をよくみましよう（どこがどのように優れているか）
- (4) 先生の教え方をよくみましよう。どこがうまいか。家庭でできることはないか。等々。
- (5) 大人が、子どもから、授業から、「わかること・感じること・学ぶこと」は多いですね。

2. 「はっ」とした高校生の会話「現代の子どもには時間がない！」

ある日、モノレールの車中、二人の高校生の会話にはっとした。
「先生達って無理なことを言うよな。部活も頑張れ、勉強も頑張れ、そして早く寝ろ！ってさ」と。確かにそうである。この時間既に8時である。彼らが家に着く頃には9時を過ぎるであろう。それから、風呂・食事・しばしの休養をおくと、落ち着けるのは10時頃である。果たしてそれから勉強を何時間するであろうか。十分な時間はとれるか、勉強する元気（疲れはないか。やる意欲はあるか）はあるか、である。すでに「早く寝る」という生活リズムは達成不可能である。さて、これを小学生に当てはめるとどうでしょうか。

子ども自身だけでは解決のできない「〇〇する時間」の確保とバランスを大人が保証してやらなければならないのではないのでしょうか。果たして子どもで考えて実行ができるかどうかです。

朝の登校風景をみておりますと、子どものその日のからだの状況は明らかに表に出ています。元気はつらつな子、疲れ気味の子、不安げな子、爽やかな子、様々です。とりわけ、特定の子がいつも疲れ気味であるのは気がかりなことです。一日一日のよりよいリズムを大人の支援で積み重ね、子どもの毎日が元気でやる気に満ちたものとなるようにしましょう。

行きたくなる学校
住みたくなる地域
帰りがたくなる家庭

【そのためにはバランスを】

- やる時間の確保
- やる意欲(はつ・)の温存
「疲れ」「気持ち」の元気
- その上での効果である。

4. 「今しかできないこと」を今やろう！ ～朝の風景にみる今～

いつの間にか子ども達は大きくなります。「いつかこんなことしよう！」と大人が考えている間も止まることなく成長し続けています。そうです、子どもの成長は大人の都合など待つてはくれないのです。いつかやろうと考えていると、結局やらず終いになることも多いものです。PTA活動も子どもの時期のお子さんとのかかわりも期限つきですから、ぜひ今やっておきましょう。

<朝の風景>

お父さん・お母さん、あるいは祖父母の皆様がお子さんやお孫さんの登校を支援し、学校まで手を繋いで歩く姿が毎朝見られます。朝の忙しい時間ですが、急ぎ足ながらも我が子とのその一時をととても大切そうにしている姿がみてとれます。これも今しかできないことですね。やろうと思っても2・3年後には、子どもは自立し手をつなぐことも少なくなるでしょう。

お子さんと手をつなぎ・肌をあわせ・心をあわせ・絆を結び、立派な大人に育ててほしい。

【そのために】子どもに「やること」と「やる時間」と「物事の考え方」を身に付けさせましよう。

- 前日のリズムが大事→食事・団欒、入浴、家庭学習、明日の準備、そして睡眠（体を休める）
- 朝の調子が大事→からだが元気・心が元気（よく休めたか）、おはようの挨拶、元気よく登校（朝元気→学校で楽しい・元気に勉強・仲間と楽しく・食事がおいしい・いろいろな活動充実）